

<<刑法学講話〔総論〕>>

图书基本信息

书名：<<刑法学講話〔総論〕>>

13位ISBN编号：9784792318628

10位ISBN编号：4792318629

出版时间：2010-5

出版人：成文堂

作者：船山泰範

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<刑法学講話〔総論〕>>

内容概要

船山泰範先生は藤木英雄先生の著書のはしがきにも名前が出てくるとおり、本書冒頭でも藤木先生の学問的影響を受けていることを示唆されています。

それもあって当然の如く、本書はいわゆる行為無価値論的な立場から平易に刑法総論を解説された入門書といえると思います。

豊富な図表は初学者の学習には大いに貢献することと思います。

表題にあるとおり「講話」を標榜されており、ちょっと普通の刑法の学習書とは趣きが違います。古今東西の刑法にまつわるといつか、刑法と絡めて考えてみたくなる小話が随所にちりばめられています。

ちょっと「お堅い刑法の本は苦手」という方にもオススメです。

大学の一般教養課程や社会人向けの公開講座等の読者層を意識したテキストなのかなとも最初は思えたのだが...

しかして分野によっては学説の対立も端的に紹介されており、判例も事案の説明から判決要旨まで十分に引用されています。

刑法が苦手な人には新たな発見があるかもしれません。

船山先生の個人的な見解も、可能な限りきちんと断った上で述べられています。

「可塑性」という言葉に先生の刑法観が表れており、一般人が関わる刑法の問題について、自分自身の立場を考えるきっかけにもなる「さまざまな問題への投げかけ」がされています。

そんな事象のひとつとして、過失犯についての記述で269頁に注目。

「わが国では原子力発電所の大規模かつ破滅的な事故は今のところ発生していないが、十分に予想される場所である。

」。

この一文に瞠目した。

手元の奥付を捲ると2010年4月20日初版第1刷発行とある。

この周辺のくだりは多くの示唆に富んだものですが、敢えてこれ以上レビューでは触れません。

是非手にとって御一読を願いたい。

「法育」の一冊目と、はしがきにあるので、各論版も是非期待したいです。

<<刑法学講話〔総論〕>>

作者简介



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>